

不正薬物の摘発件数が増加傾向**平成29年沖縄地区税関における不正薬物・銃砲類等の取締状況**

沖縄地区税関は、平成29年の1年間に管内の空港や港湾等で摘発した不正薬物・銃砲類等の密輸入事件にかかる取締実績をまとめましたのでお知らせします。

平成29年における不正薬物の摘発件数は41件（前年33件）、押収量は約2.6Kg、1,302錠であり、銃砲類の摘発はありませんでした。

前年に比べ押収重量は減少しましたが、摘発件数自体はプラス8件と増加傾向で、中でも大麻事犯の摘発が前年比約2.5倍、覚醒剤も2年連続でキロ単位の摘発がありました。

1. 不正薬物**【覚醒剤事犯】**

- ・ 摘発件数 6件 （前年8件）
- ・ 押収量 1,979.62g （前年614,324.23g）

→南アフリカ共和国来航空旅客による覚醒剤約1.9キロ密輸入事件の摘発

【大麻事犯】

- ・ 摘発件数 20件 （前年比約2.5倍）
- ・ 押収量 89.88g （前年比約6.2倍）

→大麻事犯の摘発が劇的に増加（前年8件/14.38g）

【麻薬事犯】

- ・ 摘発件数 4件 （前年9件）
- ・ 押収量 0.75g （前年651.19g） 10錠 （前年85錠）

→前年と比較すると摘発件数、押収量とも減少

【向精神薬事犯】

- ・ 摘発件数 8件 （前年比約1.6倍）
- ・ 押収量 692錠 （前年比約1.5倍）

→摘発件数、押収量ともに前年より微増

【指定薬物事犯】

- ・ 摘発件数 3件 （前年同）
- ・ 押収量 509.91g （前年比約7.2倍） 600錠 （前年比約3.3倍）

→摘発件数は横ばいであるが、押収量が増加

2. 銃砲類

- ・ 摘発、押収とも無し

覚醒剤・麻薬・拳銃等の密輸に関する情報は税関まで！



税関密輸ダイヤル

フリーダイヤル シロイ クロイ
0120-461-961

沖縄地区税関における不正薬物・銃砲類の摘発実績

(資料1)

種 類	年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	前年比
覚醒剤	件	4	5	4	8	6	75%
	g	0.00	0.46	0.00	614,324.23	1,979.62	0%
	錠	39	14	-	-	-	-
大 麻	件	4	4	5	8	20	250%
	g	475.12	152.64	285.31	14.38	89.88	625%
	錠	-	-	-	-	-	-
大麻草	件	4	2	-	7	13	186%
	g	475.12	21.17	-	12.98	71.78	553%
大麻樹脂	件	-	2	5	1	7	700%
	g	-	131.47	285.31	1.4	18.1	1293%
あへん	件	-	-	-	-	-	-
	g	-	-	-	-	-	-
麻薬	件	2	5	10	9	4	44%
	g	-	-	16.54	651.19	0.75	0%
	錠	160	325	674	85	10	12%
ヘロイン	件	-	-	-	-	-	-
	g	-	-	-	-	-	-
コカイン	件	-	-	-	-	1	皆増
	g	-	-	-	-	0.07	皆増
MDMA等	件	-	-	1	1	-	皆減
	g	-	-	-	1.57	-	皆減
ケタミン	錠	-	-	48	21	-	皆減
	件	-	-	2	6	2	33%
ケタミン	g	-	-	10.88	649.62	0.68	0%
	錠	160	325	626	64	10	16%
その他麻薬	件	2	5	7	2	1	50%
	g	-	-	5.66	-	-	-
	錠	160	325	626	64	10	16%
向精神薬	件	8	11	3	5	8	160%
	g	-	-	-	-	-	-
	錠	723	1,357	235	460	692	150%
指定薬物	件	-	-	3	3	3	100%
	g	-	-	103.51	70.74	509.91	721%
	錠	-	-	-	177	600	339%
合 計	件	18	25	25	33	41	124%
	g	475.12	153.10	405.36	615,060.53	2,580.15	0%
	錠	922	1,696	909	722	1,302	180%
(参考)使用回数	回	1,673	2,729	3,136	20,477,995	67,006	0%
銃砲及び銃砲部品	件	3	1	2	1	-	皆減
	丁	6	1	2	1	-	皆減
	点	-	-	-	-	-	-
銃砲実包	件	1	-	1	1	-	皆減
	発	1	-	7	1	-	皆減

(注)

1. 税関が摘発した密輸入事犯に係る押収量の他、警察等他機関が摘発した事件で、税関が当該事件に関与したものに係る押収量を含む。
2. 覚醒剤は、覚醒剤及び覚醒剤原料の合計数量を示す。
3. 大麻樹脂は、大麻樹脂、その他の大麻製品の合計数量を示す。
4. MDMA等は、MDMA及びMDAの合計数量を示す。
5. (参考)使用回数は、以下の不正薬物について、乱用者の通常の一回分使用量をもとに換算し、合計したものである。
(覚醒剤:0.03g、大麻草:0.5g、大麻樹脂:0.1g、ヘロイン:0.01g、コカイン:0.03g、あへん:0.3g、MDMA等及び向精神薬:1錠)
6. 数量の表記について、「0」とは微量で重量を鑑定できない場合を示し、「-」とは全く無い場合を示す。
7. 不正薬物の重量(g)については、小数点第3位で四捨五入し計上。

(資料2) 不正薬物の密輸形態別摘発件数

形態別 \ 年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
航空旅客等による密輸入		2	3	10	24
国際郵便物を利用した密輸入	14	19	18	12	15
商業貨物等を利用した密輸入	1				
船員等による密輸入	3	3	4	11	2
不明		1			
合計	18	25	25	33	41

航空機旅客等には航空機乗組員を含み、船員等には船舶旅客を含む。また、商業貨物等には別送品を含む。

(資料3-1) 覚醒剤の密輸形態別摘発実績

形態別 \ 年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
航空旅客等による密輸入		1		2	6
国際郵便物を利用した密輸入	1	1		1	
船員等による密輸入	3	3	4	5	
合計	4	5	4	8	6

航空機旅客等には航空機乗組員を含み、船員等には船舶旅客を含む。また、商業貨物等には別送品を含む。

(資料3-2) 覚醒剤の仕出地別摘発実績

仕出地 \ 年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
タイ				1	1
南アフリカ					1
中国				1	
台湾		1		3	3
米国	1	1		1	
不明	3	3	4	2	1

(資料4-1) 大麻の密輸形態別摘発実績

形態別 \ 年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
航空旅客等による密輸入		1		5	15
国際郵便物を利用した密輸入	3	2	5	2	4
商業貨物等を利用した密輸入	1				
船員等による密輸入				1	1
不明		1			
合計	4	4	5	8	20

航空機旅客等には航空機乗組員を含み、船員等には船舶旅客を含む。また、商業貨物等には別送品を含む。

(資料4-2) 大麻草の仕出地別摘発実績

仕出地 \ 年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
プエルトリコ	1				
米国	3	1		3	9
オランダ				1	1
香港				1	1
カナダ					1
台湾					1
不明		1		2	

(資料4-3) 大麻樹脂の仕出地別摘発実績

仕出地 \ 年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
フランス			1		1
香港		1			2
米国		1	4	1	3
台湾					1

大麻樹脂には大麻樹脂、その他の大麻製品を含む。

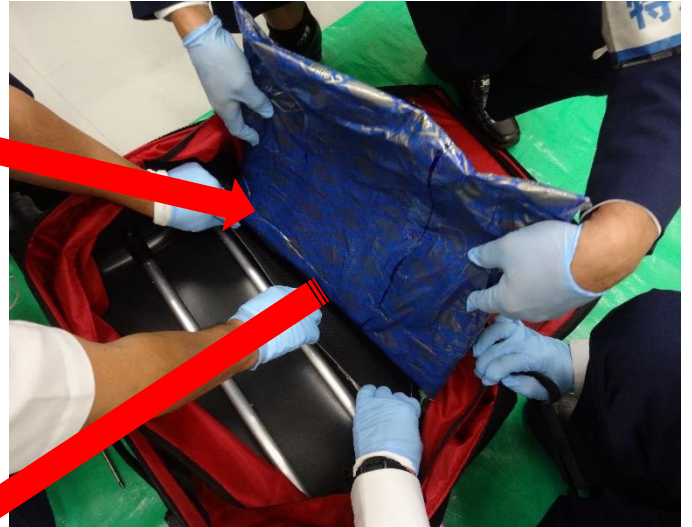
摘 発 事 例

覚 醒 剤

南アフリカ共和国来航空旅客から覚醒剤

約 2 キロ

を 摘 発



大麻

アメリカ合衆国来国際郵便物から大麻

約2グラム

を摘発



コカイン

香港来航空旅客からコカイン

約0.07グラム

を摘発



金地金密輸入事犯の摘発が激増！

沖縄地区税関は、平成29年の1年間に管内の空港や港湾等で摘発した金地金密輸入事犯の摘発状況をまとめましたのでお知らせします。

(※金地金には、金塊に加え一部加工された金製品も含む。)

平成29年に沖縄地区税関が摘発した金地金密輸入事犯の件数は **46件** (前年比約**11倍**)、押収量は約**133Kg** (前年比約**5倍**)でした。

摘発した事犯を密輸形態別にみると、船舶旅客・乗組員による密輸入が**26件**と最も多く、次いで航空機旅客による密輸入が**19件**となりました。

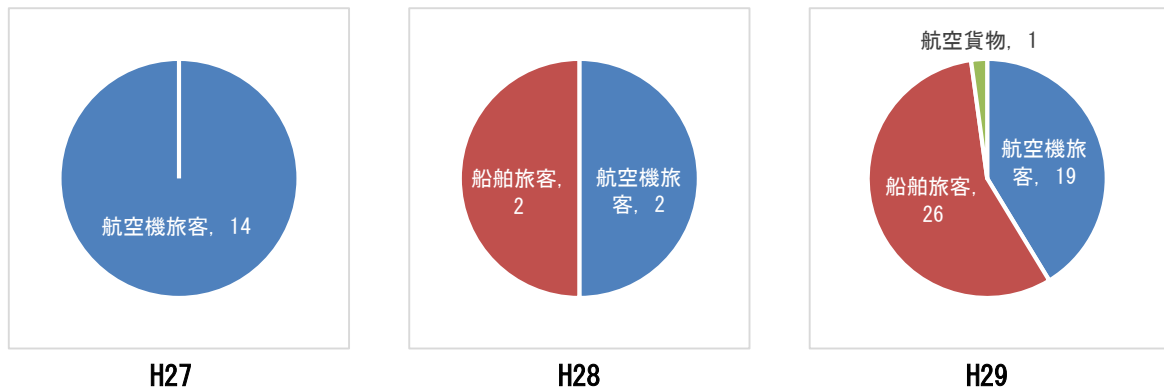
犯則嫌疑者数を国籍別にみると台湾、香港、中国が多く**全体の8割**を占めました。

1. 摘発件数 (年ベース)

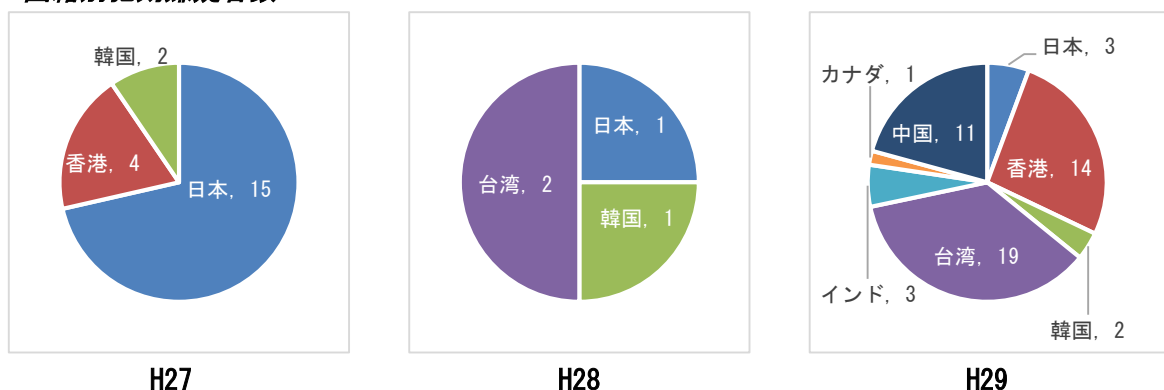
	摘発件数	重量 (Kg)	価 格	脱 税 額	
				消 費 税	地方消費税
H27	14	148	638,848,422	40,246,600	10,859,800
H28	4	26	110,583,093	6,966,400	1,879,500
H29	46	※133	※609,043,614	※38,456,200	※10,350,500
前年比	約11倍	約5倍	約5.5倍	約5.5倍	約5.5倍

※は速報値

2. 密輸形態別摘発件数

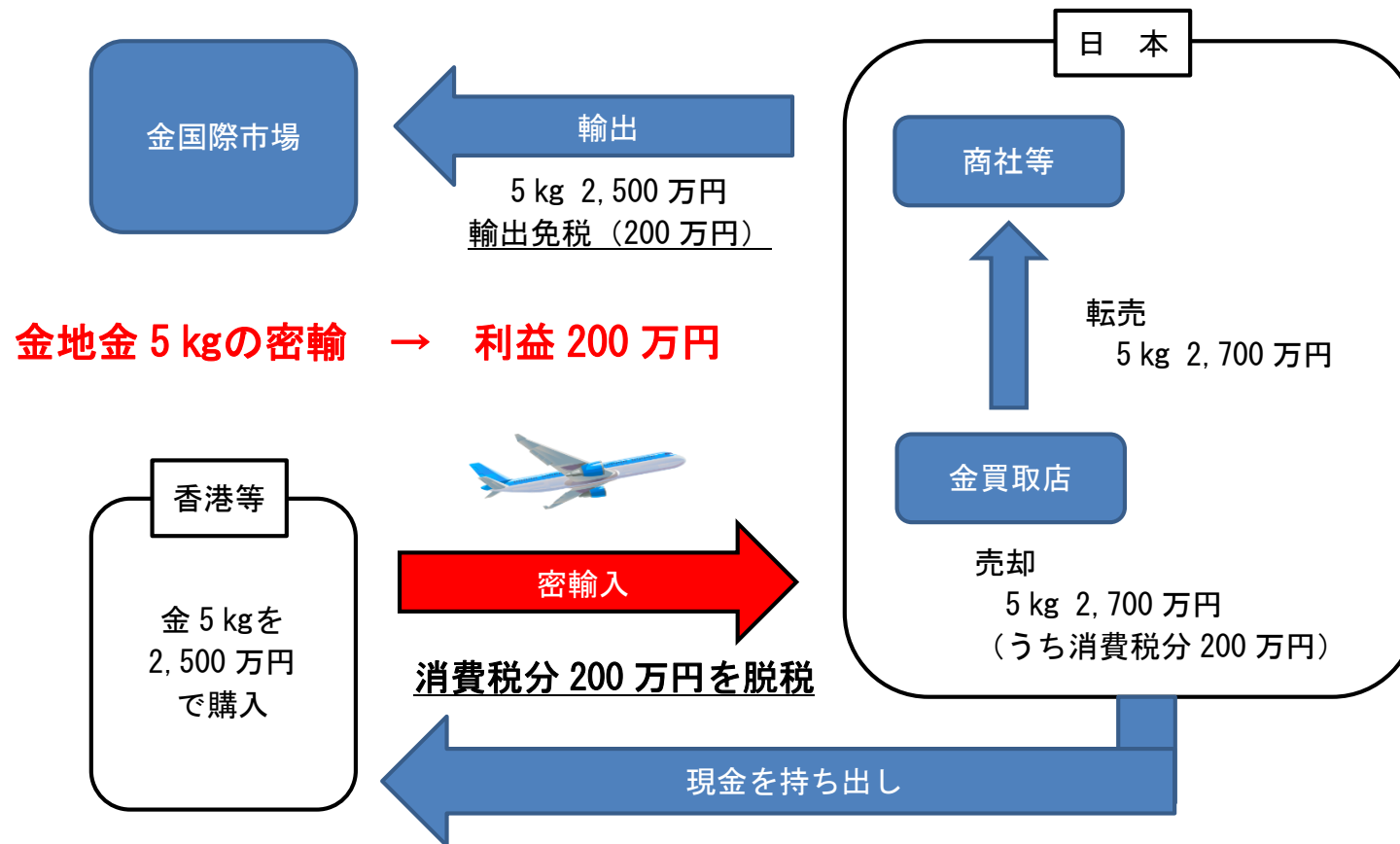


3. 国籍別犯則嫌疑者数



(注) 数字は事件で摘発された共犯者を含む。

金地金の密輸によって利益を得る仕組み（例）



金地金摘発事例

事例1

H27.12 マカオ来プライベートジェット機内から

約112キロ

を摘発



事例2

H28.11 台湾来クルーズ船旅客から

約15キロ

を摘発



事例3

H29.10 香港来クルーズ船船員らから

約27キロ

を摘発

